

NHKスペシャル

“ジャパン・ブランド”の逆襲

2夜連続放送!

これまで日本経済を牽引してきた製造業。電機や電子部品産業などで、韓国や台湾勢に追い上げられ、アメリカ発のデジタル革命の波に飲み込まれて、日本はいま、新たな“稼ぐ力”を見出すことを迫られている。

昨年10月、今年5月に放送した「メイド・イン・ジャパン 逆襲のシナリオ」では、日本の製造業の行方を探ってきた。これに続く新たなシリーズ「“ジャパン・ブランド”の逆襲」では、“稼ぐ力”を何に求めていくべきなのか？そして日本が成長の糧にできる「強み」とはいったい何なのか？そのヒントを2夜連続で探る。

鍵を握るのは、これまで日本が培ってきた「ジャパン・ブランド」。日本は完成品のモノだけでなく、優れた品質を生み出す力、細部にまで徹底的に突き詰めるこだわり、安全・安心を極限まで追求する姿勢などが高い評価を受け、海外から信頼を獲得してきた。シリーズでは「食と農」「グリーン・インフラ」での最前線の取り組みを通じて、今後の可能性を探る。

出演：ジョン・カビラ ほか

放送：総合テレビ 1月11日（土）・12日（日）午後9：00～9：58

第1回 日本の「食と農」に勝機あり（仮）

有望な成長分野として期待されている「食と農」をテーマにその可能性を探る。世界の食市場の爆発的な増大、さらには日本食ブーム。こうした旺盛な需要を取り込むことができれば、ピンチと目されてきた農業や食ビジネスを通じて「逆襲のシナリオ」が見えてくる。

すでに始まっている各地の生産者やメーカーなどの動き、さらに海外の先進事例などを盛り込みながら、日本の逆襲のシナリオを考える。



第2回 “グリーン・インフラ”を支援せよ（仮）

交通渋滞と排気ガス汚染を解決する「都市交通」、環境汚染を改善する「環境技術」、水道整備や治水を行う「水ビジネス」といった「グリーン・インフラ」の分野は、新興国の需要が見込まれる中で、2020年には、270兆円もの巨大市場が生まれると予測されている。そこで、日本人が重視してきた「安全」「清潔」「快適」を実現するシステムを輸出しようという動きが加速している。

タイでは、丸紅とJR東日本のグループが新都市鉄道システムのメンテナンス事業を受注し、ベトナムでは東京メトロが運行管理を請け負った。正確な運行を誇りながら「欧州規格」の壁を越えられなかった日本の鉄道システムが海外で真価を発揮し始めているのだ。さらに、味の素はベトナムで「食育」の普及に乗り出し、北九州市という「公」が先頭に立って世界各地でゴミ処理・水道事業ノウハウを広めている。

国際競争における日本の弱点とされた「技術への過信」「極度なリスク回避」「トップの決断の遅さ」。これらの課題を克服し、“ジャパン・ブランド”への信頼をビジネスにつなげ、新興国の発展に貢献しながら共に成長できるのか？「グリーン・ジャパン」の最前線を描く。

